

2020年6月13日

理事長 島崎憲明

第一回「コロナ禍学生支援ネットワーク」会議開催にあたって

コロナ禍学生支援ネットワークの初回会合にご参集いただきありがとうございます。
会議に先立ちまして、新型コロナウイルス感染症拡大に対する商大での学生支援の現状と
今般の学生支援ネットワークの組成の狙い等につきましてご説明します。

大学は次の学生支援策を決め、支給総額は5,100万円を予定しております。(詳細は添付の
6月1日付理事長発信「母校創立110周年記念募金のお願い」を参照ください)

支援策(1) 新型コロナウイルス対策緊急給付型奨学資金として1,500万円

支援策(2) 中長期的に支援が必要な学生への支援資金として3,600万円

学長から緑丘会に対して、緊急に給付を要する支援策(1)について資金負担の要請があり、
6月5日(金)に大学にて1500万円の寄付金贈呈式を行いました。(添付の報道記事、
大学HP記事を参照ください)

新型コロナウイルス感染症の完全終息への道筋は未だ不透明であり、かなりの長期戦にな
ると思われまますので、大学・学生に対する支援活動は今後も継続していく必要があります。
かような現状認識の下、「コロナ禍学生支援ネットワーク」を立ち上げ、メンバーは東京1
6人、札幌11人、小樽2人、事務局3人、計32人でスタートし、半数は平成卒業世代か
ら参加いただいています。

ネットワーク立上の狙いは次の2つですが、本日はこれらについて情報共有し、意見交換し
たいと思います。

(その1) 学生の窮状について情報共有し、何が必要で、何ができるかを意見交換する

(その2) 緑丘会からの支援金1500万円は110周年記念募金から拠出しましたが、
さらに追加支援への備えが必要で、同窓生各位の理解と一層の支援を要請して
いく

以 上